9月28日 水曜日 27日発行
昭和30年 西暦1955年

発行所 内外タイムス社

第3231号 (昭和24年6月27日…)・昭和24年5月27日国鉄特別扱承認 第232号)
(中華郵政台字第637号執照登記為第2類新聞紙類・内政内鎖証報備内台警字第0136号)

天気予報
今晩 北東の風雨、風雨ともなる。
明日 北の風雨、夜おそく天候の見込み。

あすの暦	9月28日 水 旧8月13日
月齢	11.9
日出	前 5.32
日入	後 5.31
月出	後 3.14
月入	前 1.36
満潮	前 2.10 / 後 3.35
干潮	前 9.10 / 後 9.40
	(中潮)

政局、首相の帰京で活発化へ

鳩山首相は二十七日午前九時、軽井沢を自動車で出発、午後一時すぎ約二ヵ月ぶりで東京音羽の私邸に帰った。首相は欧州から帰国した一万田蔵相の訪問をうけ、IMF総会および欧州の情勢について報告をうけ、引続き閣議に出席したのち党四役を招き懇談、党首会談との予定の会食を開くが、保守合同問題については党内外の動きが微妙な段階にあるため、首相はこの席では特に政局に関する発言は行わないと見られる。

"合同"推進を決意

三木氏と意見調整へ

首相はこのあと私邸に三木総務会長、岸幹事長らを別個に招き、保守合同を中心とする諸問題について協議し、あわせて二十八日日比谷公会堂で行われる緒方自由党総裁との合同演説会の打合せを行う。三木総務会長は今春以来鳩山引退緒方初代総裁の線で合同を打出し自由党の大野総務会長ともこの線で約束したとも伝えられ、このため首相との間にも感情的にミゾを生じ、ここ二ヵ月全く首相と疎遠になっているため、首相とのこの日の会見は特に両者の感情的わだかまりの調整が主となるようである。

一方、首相はすでに鳩山初代総裁による保守合同に踏切る決意を固めており、今後この線による保守合同推進に積極的に動くものとみられているが、三木総務会長も内心鳩山初代総裁による合同実現に賛成しているため、両者の感情的わだかまりは一応解消するとみられる。

また三木会長は合同には依然強気でその早期実現のためにはある程度の混乱もやむを得ないとし、十月中旬に民主党が議員総会で党議を決定するとき、なお松村、大麻、三木各相が反対すれば抜打ち改造を行い、反対派を閣内より排除…

首相の治療結果は良好

田坂博士発表

首相は二十七日帰京したが、十六回の低周波脊髄電通法という新治療法は病首相をどこまで立直らせたか、軽井沢で首相の治療に当った東大田坂内科の田坂博士に聞いてみた。

…古過ぎるのと老齢のため完全な健康体になることは期待できないが、予期していた程度に日ごとにはっきりしてきて、どうにもならなかった左足が自由になり、屈身ができるようになったことや、左手の運動も自由になり、肩あたりまで上げられる。握力もできてきた。これは治療前は全然なかったものでは三キロ位になっている。

党首会談も考慮

日ソ交渉 政府、決断を急ぐ

日ソ交渉の松本全権が三十日に帰国することと、保守合同の動きが活発化して来たため、政府は国内政局とにらみ合せて日ソ交渉に対する決断にせまられており、鳩山首相は近く緒方自由、鈴木左社、…ねたが松本・マリク両全権会談は総て出尽し領土、海…権などの諸点で意見が対立したまま交渉は中断された形となっている。ソ連側はロンドン交渉の成行きに不満を示し、初の主張に返って平和条約締結よりまず国交を回復すべきだとの意向を示しはじめた。これは西独方式を日本にも適用するとの考えから出ており、このためソ連政府は鳩山首相または首相代理をモスクワに招き一挙に国交回復に持込む意向があると最近の外電は報じている。東京の一部ではソ連政府が最近何らかの方法で鳩山首相に対しモスクワを訪問するよう招請したもようであると伝えているが、根本官房長官は二十七日このような事実は全くないと否定した。

政府筋によれば政府が日ソ交渉に対しどのような態度を決めるかは松本全権から詳細な報告を聞いたのちのことになるが、必ずしも早期妥結の結論は出ないだろうと述べている。

根本官房長官談

ソ連からの鳩山首相招請の話は全く聞いていない。門脇外務次官も全然聞いていないといっていた。公式の書簡が来れば判らない筈はないがとにかくそんな事実は全く知らない。あるいは訪ソ議員団あたりから、フルシチョフ・ソ連第一書記と会ったときの話が伝わって来たのではないだろうか。

両社議員の訪問許可 ハバロフスク収容所

【モスクワ二十六日発UP＝共同】ソ連訪問中の日本の左右両派社会党国会議員団九名は二十六日ハバロフスク戦犯収容所を訪れることを許可された。日本人がこの収容所の訪問を許可されたのはこれが最初である。一行は右派社会党七名、左派社会党二名で二十七日空路ハバロフスクへ向い、同収容所を訪問後、北京に飛び先着の国会議員団の一部と合流する。

東独下院 再軍備改憲案可決

【ベルリン二十六日発UP＝共同】東独人民議会(下院)は二十六日現在の警察軍を正式の国防軍とするための政府提出の憲法改正案を満場一致で可決した。同案は兵役を『名誉ある国民の義務』として…

統一への態勢整備

右社拡大中央委ひらく

右派社会党は二十七、二十八の両日東京渋谷公会堂で党大会に代る拡大中央委員会を開き、両社統一問題について討議、統一への態勢を整備する。中央委第一日目の二十七日は午前十時三十五分から国会議員、中央委員、各府県連代表など約三百余名が出席して開かれ加藤勘十氏(教育宣伝局長)の開会の辞について松岡駒吉氏(顧問)が党綱領を朗読、会議運営委員九名と議長に河上委員長、副議長に鈴木義男、棚橋小虎の両氏を選任したのち河上委員長のあいさつが行われ、鈴木左社委員長らから祝辞が述べられた。ついで浅沼書記長から一般党務報告、伊藤会計から会計報告が行われた。

午後は両社統一問題を議題にとりあげ両社統一交渉経過報告(三宅統一準備小委員長)綱領および基本政策(曽禰綱領政策小委員)規約案(松井組織部長)政策大綱(西村政審事務局長)運動方針(松沢政審副会長)ならびに当面の活動方針(河野国会対策委員長)についてそれぞれ報告説明が行われ第一日目の議事を終了する。

右社拡大中央委員会で祝辞を終った鈴木左社委員長(右)にあいさつする河上右社委員長(議長席)手前は浅沼書記長(渋谷公会堂で)

新党風の建設強調

河上委員長挨拶

河上委員長のあいさつつぎのとおり。

われわれが社会党の共同政権を提唱したのは昭和二十八年の総選挙であったが、以来統一の気運が今日を追って高まり、来月十三日統一で大会をあげるにいたった。私は回の統一について心から満足に考える点が三つある。第一は今回の統一が思想の統一の上に築かれたということである。第二は全的統一であるということである。第三は完全な解党の上の統一であることである。しかし私は統一の前途を手ばなしで楽観するものではない。われわれが過去四年間苦難の闘いの中で堅持してきた民主的、社会主義精神を着実大胆に実践することによって統一社会党の将来が決定される。私たちは広く天下に門戸を開放するとともに真に国民の負託に答え得る新しい社会党の党風を建設しなければならない。統一社会党に対する風当りは保守党側からも共産党側からも激しいものがあると予測されるが、敢然として闘っていこうではないか。

鈴木左社委員長祝辞

私は国民の両派社会党に対する大きな期待に答えるため合同の条件として統一大会に提案する綱領、政策の成案を得たことを喜ぶ。また今日まで両派社会党が国会内外で共同で闘ってきたことは合同の重要な条件である。しかし二つの組織が長いあいだ別個に存在した関係上統一を円滑にするには同志愛の精神で手をさしのべあい一体となって前進することが必要である。

フーヴァー米国務次官 来月三日に来日

フーヴァー次官

【ワシントン二十六日発＝共同】井口駐米大使は二十六日国務省にフーヴァー次官を訪れ、同次官の訪日について意見を交すと同時に重光外相からアイゼンハワー大統領あての見舞状を手渡した。フーヴァー次官はホリスター国際協力局(ICA)長官、ジョーンズ国務副次官補(極東経済問題担当)とともにシンガポールのコロンボ計画諮問委員会に出席する途中十月三日東京着三日間滞在する。米国は昨年秋のコロンボ計画諮問委員会にウォー国務次官補を送ったが今回一階級上のフーヴァー次官を派遣することは米国の東南アジア開発重視のあらわれである。

日本政府はフーヴァー次官に対し米国の東南アジア開発援助への日本の協力計画を提示すると伝えられるが、関係筋は日本が米国とともに南アジア諸国をともに満足させるような計画をつくれるかどうか問題視している。フーヴァー次官は日本側の希望があれば別だが特に同次官の方から防衛問題を持ち出す意向はないといわれる。

日本など加盟速かに認めよ

国連カナダ代表演説

【ニューヨーク二十六日発UP＝共同】マルタン・カナダ首席代表は二十六日国連総会で演説、日本を含めた十七ヵ国の一括国連加盟案を提案してつぎのように述べた。

国連新規加盟の申請国は二十一ヵ国に上っている。このうち北鮮と韓国、南北ヴェトナムのように分割状態にある国の加盟については困難があるが、日本を含む他の十七ヵ国の早期加盟については真剣に考慮することが望ましい。モロトフ・ソ連外相は先週の演説の中で日本を除く十六ヵ国一括加盟等を提案したがわれわれは同外相が再びこの問題を検討し、その態度を変更することができるものと信ずる。

牧野委員長の

物事に余りコダワラヌ牧野良三氏は、党内に設けられた教科書問題特別委員長になってから、共産系・日教組の"追討ち材料"を集めてはパンフレットをたびたび刊行するので、怒った日教組首脳連がすぐる日、民主党に厳談に出かけたら、牧野氏は見当らず池田正之輔氏が応対に出た。『牧野委員長編集のパンフレットはケシカラヌ』『アノ男はバカなんだ』『民主党はバカが編集責任者か、無責任じゃァないか』『牧野はヘラヘラした男で、われわれは相手にしとらん』

といったヤリトリに花が咲いた。

牧野氏は『仲間だけの話ならガマンもするが、敵前でバカだの、ヘラヘラだのいわれちゃァ男が立たぬ』と根にもち、次の会合で池田氏と口ゲンカを始めた。『ケシカラヌ』『何がケシカラヌ』『ヘラヘラとは何だ』『ヘラヘラだからヘラヘラというのが何が悪い』『長ったらしい話はやめい』『やめない』い合せた連中、面白がってヘラヘラ笑いながら、ウシ・ウシ。

ヘラヘラ論争

地獄耳

市況

ジリ貧商状

三百三十四社

…く、ほとんど弱含みに保合、雑株も配当落の株以外は大部分一—三円の小動きであったが、この間ビ…一部に整理売りがみられ…円方下押した他は概して…のがちの場面であった。…は電機、製紙株の一部に…埋めて小確りのが散見…、大部分は順当に予想配…て格別の動きはみられな…商内は一段と閑散化し…

…株＝朝日ビール六円、東…日本ビール四円…株＝楽天地五円

東京株式仲値

□新株落△配当落
(27日前場終値)

特定銘柄	
東海上	259
郵船	63
新三菱	77
日清紡	270
味の素	269
三越	306
三菱地	519
平和不	209
三井金	112
三菱金	112
日鉱	111
住友金	116
三菱鉱	50
古河鉱ロ	84
同和鉱	138
住友炭	63
三井山	66
北海炭	67
東邦亜	64
帝石	73
日石	109
昭和石	130
東燃	128
三菱石	130
大協石	128
日東化	84
日産化	72
三菱化	96
三井化	124
協和醱	118
東合成	124
三共薬	167

銘柄	値
信越化	78
東高圧	132
昭電工	96
日本曹	93
旭電化	77
三菱造	87
三井造	118
三菱重	62
石川重	90
精工	132
東洋ベ	110
日立造	56
浦賀	58
日平	18
古河電	70
日立製	74
東芝	64
三菱電ロ	78
小松	51
日本光	132
キヤノ	151
東京光	34
東洋紡	159
鐘紡	136
富士紡	117
大日紡	88
日東紡	61
片倉	39
東邦レ	108
帝麻	45
中織	49
帝人	144
東洋レ	187
三菱レ	125

銘柄	値
倉レ	100
旭化成	371
山陽パ	120
日本パ	109
国策パ	124
東北パロ	107
大東紡	95
商船	51
三井船	51
飯野海	58
西武	—
藤田興	220
東京ガ	78
東電	553
日銀	1970
東銀	58
三井銀	69
富士銀	—
日証金	85
安田火	108
大正海	95
住友海	—
千代田	75
鋼管	76
日製鋼	65
八幡鉄	57
富士鉄	51
神戸鋼	53
日特鋼	112
日軽金ロ	188
日金工	69
日セメ	160
磐城セ	258
小野田	87
横浜ゴ	153
旭硝子	167
富士写	141

銘柄	値
小西六ロ	100
カボン	—
三井物ロ	120
第一物	125
白木屋	280
高島屋	86
日活	72
松竹	199
東宝	—
大映	194
日本粉	132
日清粉ロ	124
日本ビ	160
朝日ビ	170
キリン	199
宝酒造	108
台糖	134
明糖	127
甜菜糖	130
野田醤	191
森永ロ	190
明菓	181
日水産	85
昭和産	99
東洋醸	83
合同酒	139
三楽	115
大阪糖	170
王子紙	227
十条紙	252
本州紙	89
三菱紙	—
北越紙	60
三井不	794
三井倉	90
渋沢倉	77
東洋埠	—

粋人酔筆

秋草

福田蘭童

新橋駅の正面口から電車に乗ろうとして改札口にさしかかると、左手の方に、高原の花が咲きほこっているのが目に映った。落葉松を芯としてワレモコウ、オミナエシ、リンドウに野菊が添えられ、紅葉しかけたナナカマドとボケの実までが挿してあり、時ならぬ秋の風情に、すうっとした清々しさを感じた。

騒音と塵埃以外に何ものも見出せない駅内で、特設の床の上に『華道』の花をかざってあっても乗り降りする人の目をたのしませることはうなずけるが、それ以上に出しゃばっている立札を見たとき、どんな感じを受けるであろうか。新橋駅内に飾られている花にも立札があった。しかし何々軒とか何々斎とかいうイカメシい華道免許者の名札ではなくて『信州高原の秋』とかいう、一目見て、清々しくなる立札であり、旅の心を誘う道標でもあった。

リンドウ、ワレモコウの咲く、あの高原…ふと、私は駅内の花を見ながら、そのかみのある日のことを思い出した。

かれこれ三十年にもなるだろう。いま時分のことである。軽井沢のある宿屋に一ヵ月ほど滞在していたことがあった。これはという目的で出掛けていったわけではなかったが、妙なものに心をひかれて、つい長逗留をしてしまった。ざっくばらんに白状するならば、可愛いらしい女中が宿屋にいたからである。

その女中は宿屋の親類筋にあたり、東京から手伝いに来ているのだといった。齢は十七オだという。こっちは二十オぐらいだからワクワクである。彼女がお膳を運んでくるのを見ては溜息をつき、部屋から去ってゆく後ろ姿を見ては匂いをかいだ。髪の香ではない。彼女は匂いのいい香水を着物につけていたからである。私は香水が大好きなのである。殊に彼女がつけていた香水は、ひとかぎしてオーキッドであることがわかった。瞬時に強烈な芳香を放つ蘭が原材なのであるから、ネコがマタタビに吸いつけられるのと同様、私も彼女の匂いに鼻をよせ、ついでに口も…であった。

月のいい或る晩だった。庭先で松虫がチンチロリンとないている。一ヵ月も滞在しているので懐中に銀貨が、モータリンと…る。このへんで、ネンコロリンとい…は閻尺に合わぬような気も起きて…『キクノちゃん。散歩にいかないか』女中の本名をいって誘いの水を…『行ってもいいわ。遠いところなら…』

彼女は意味深長な返事をし…つかぬ遠いところなら思う存分…という意味にとれた。

『本当に行くのかい?』
『ちょっとお待ちになってね。…静まっていないし、それに、…』と、いって両のタモトを振…

『着物なんか、どうでもいいじゃない…露が深いんだもの』
『そうだわ。でもね、わたし。ちょ…したいものがありますから、三十分…ちになってね』

その時間を待って、二人は浅間山の方へあるいていった。やはり虫がないていた。

…色に光っていた。…場所もよし一尺ほど伸びた芝草…と腰をおろして足を伸ばした。…東京へ帰ろうと思うんだけど』…れていって』…一番列車で逃げだそうか』…水の匂いをかいで、いやが上に…ワレモコウ、リンドウ、野菊、…夜闇の夜風に包まれながら、う…時間が流れていった。彼女は、…私の襟首に手を伸ばした。そ…とは別の変なにおいが私の鼻を…の持主だったのである。香水…すためにつけていたのだった。

財界春秋

誰が若女将を殺したか

三鬼陽之助

時 九月十四日(水)夜
所 中川の大広間
人 代議士中村庸一郎、名糖乳製品永野副社長、中川若女将、筆者、その他芸者数名

その夜、六時半すぎ、私はNHKの経済教室の録音を終えて赤坂の『たい家』の店先で四十年会の友人永野副社長と一杯飲んでいた。そこに民主党の中村代議士が現われ『僕が奢るから』というので、連れられて中川に行った。驚くぶりである。間もなく中村代議士の馴染の芸者が三—五名やってきた。

ところが永野君が『ソロソロ君の放送が始まるのだろう』といい出したので、大広間にラジオが運ばれた。老女将も、問題の若女将も現われた。そして、八時五分から二十五分間の私と共同通信の渡辺、毎日新聞の名取両経済部長との『苦悩する三十一年度予算』の面白くもない放送を若女将は私の側に座って聞いてくれたのである。

聞きおわって、若女将は私に『景気はどうなるの』と聞いたので、私はいつもの調子で『駄目だよ。みな一兆円とか、デフレ予算に未練を持っているのだもの』と、酔いも加わっていたので乱暴に答えたように記憶する。『こんな商売もむずかしくなりましょうネ』と問われたように思うが、ハッキリしない。

しばらく中座して、若女将はまた現われた。そして『あなた根津さんの伝記を書くんですってネ』といった。私は『そうだ。根津さんの晩年のことをあんたにもいろいろ聞こうと思っているのだ』とからかい半分にいうと、若女将は私を見つめたまま急に黙ってしまった。それで、私が『僕はあんたの若い時分を知っている。一度、ライスカレーを一緒に食べたことがあるネ』と、彼女が先代根津嘉一郎翁との三駒時代を過ぎ『わかもと』の若尾氏時代か、赤坂のレストランで昼食をともにしたことの話をした。

その夜は、中川は珍らしくヒマだったらしい。若女将は、ちょっと中座したと思うと、またやって来て私の側に座った。

私は若女将が大麻国務大臣の相撲の席に新橋『秀花』の女将らと一緒に来ていた時の話や、銀座のバー『エスポワール』で酔っていたので忘れたが、帝国…明治屋の磯野副社長と二人で現れた時の話や、さらに先年私が東都製鋼の藤川社長と中川に来たとき、たまたま富士製鉄の永野社長が渡欧中で帰途アルゼンチンに寄るため十日ほど帰国が遅れるというホットニュースを彼女に伝えると、若女将はすでにそれを知っていて、私らに大いにからかわれた話などをした。いま思うと、その夜は私と一種の回想談をした格好である。『あなたは何でも知ってるので怖い』と小林中、俣野健輔、池田勇人ら中川のご常連の名をいいながらマタ中座するが、スグ現われて話を続けるのであった。

『先生、本当に根津さんのことを書くの』と帰りしなにきいう。その他『五島慶太伝を…』いたが、いまの彼女も三駒と…ってネ。電車屋サンは二人と…三駒サンだ』ともからかった…

ホテルの若い大丸支配人との話や、旦那さんが偉くなるとナカナカ会えないだろうとカラかい、調子者の私は、若女将が盲腸で前田病院に入院していた際の愉快なエピソードまで、おもしろおかしく話しあった。考えると三時間前後、若女将と話した勘定になる。

当夜の彼女は、見違えるほどやせていたが、それだけ余計に丈がスラリと見え、一段と美しくさえ思った。僅か一週間後にったら私を見つめて『いつも話すときのあなたとチッとも変らないで…』と、艶然と愛想笑いしてくれたように覚えている。

あの頃、彼女はすでに自殺を考えていたろうか。あるいは、その後急に自殺を決意したのだろうか。果して誰が三十四の花の生涯をおわらしたのか。旧知の間柄とはいえ、彼女の指一本、髪一筋にふれたことのない私は知る由もないが、ただ、あの十四日の夜、何度も何度も中座しながら、またスグ戻って来て、私に話しかけた若女将の顔が、未だに目にチラついてならないのである。心から冥福を祈る。

青春無宿 (140)

大林清 作
下高原健二 画

深淵に立つ(一)

昨夜外泊したことをどう弁解したものかとまだ心が決まらず、足音を忍ぶようにして階段をあがって行った光代は、その途中でふと耳をそばだてた。

二階の部屋の襖越しに、階下の主人木島武吉のものらしい声が聞えて来たからだった。言葉のあやはわからないが、昂ぶっているような調子だった。

光代は残る二、三段を、息を殺しながらあがった。

『わたしの方もこんなことはいいたくないが、いつまで待ってもおんなじことですからね、ここらできりをつけてもらわんことにはどうこもなりませんよ』

と、台所へはいってしまった…鳥の足音が階下の部屋へ消え…で、流し場の前に立って息を…ていた。

木島の言葉から察せられ…は、立退きの要求がいよいよ…の段階へ来たらしいことだっ…光代がからだを張れば、或る…それも食いとめられたのだが…れを拒んだ上に借金の方の…あけないので、木島は業を煮…たのだろう。

光代はしっかりとかかえて…いるハンドバッグへ、ふと眼…した。その中には五万円の小…がはいっている。たった一枚…の紙切れを投げ出しさえすれ…すべては解決するのだ。…

そむけた。

『昨夜はお父さんも帰ら…恭治は夜中にお腹が痛い…い出すし、ほんとに心配…たよ』

『それで恭ちゃんどうし…

光代は弟の姿のない室…わした。

『なに、何でもなくって…に学校へ出かけて行った…

浅子はそう云ってから…とを話したものかどうか…うな顔になった。

政界10月台風の眼

十月の政局は保守合同と両社統一問題にしぼられるだろう。殊に保守合同問題は直接政権に影響があるだけに最も注目されるところ。合同派の立役者は河野農相であり反合同派のチャンピオンは三木運輸相である。ある政界の長老は『将来の保守党を背負う者は河野一郎、三木武夫、佐藤栄作、池田勇人の四人だ』と評しているが、河野氏は今や鳩山首相の信頼を一身に受けている実力者であり、片や三木氏は『保守第三党論』をひっさげて政界のキャスチングヴォートを一手に握ろうとしている曲者この二人の動くところ、保守合同めぐる十月の政界は所詮ひと波乱はまぬがれない。（G）

三木武夫という男

骨あり、度胸あり
だが底の割れそうなやり口
第三党結成はムリ？

◇三木武夫の生れた徳島県からは、妙に曲者政治家を数々出している。秋田清、原田佐之治、松島肇、晩年拙かった生田和平でも、生きている海原清平(自由党院外団長)でも、曲者たるに間違いない。三木は若くしてアメリカに学び、一通りの苦労もしたからクソ度胸も相当できている。以上の人々とは色どりは少々違うだろうが、曲者性は多分に似たところがある。金粉をフリかけているから表面"近代的"に見えるが、五体の中の臓物は生れ在所の"徳島の匂い"がプンプンしている。◇秋田大助でも、岡田勢一でも"三木は恐ろしい男ですよ。応援演説に行ってやろうとよくいいますが、味方の票をフヤスより、自分の票を多く稼いで逃げますから何のことはない送り狼ですよ。油断もスキもできません。あのような人にはコチラの地盤が大丈夫になるまで、敵にも非ず、味方にも非ず、つかず離れず交わる他ないだろう"と胸中をもらしたこともある。現に岡田は今落選して不運だし、秋田は二度もウキメを見せられ、ヤットコサと浮び上って来たばかりである。大助の父秋田清は大臣を二度もやり、議長までした人だが、多年三木をロウラクしてやろう、誘いに乗らなければツキ落してやろうという考えを持っていたが、志を果し得ずに終った。大助は親の因果が子に報われた形でもあった。

◇広川弘禅が自由党の幹事長で威勢のいい頃"オレが選挙費集めにグルグル回っていると、時を移さず、三木武夫が顔を出している。同額・半額・たとえ三分の一でも必らず成果を納めている。奴はオレにスパイでも付けているんじゃなかろうか。少しも油断のならぬ男だ"とクタビレた顔をして見せたことさえあった。

◇三木という男はたしかに度胸はあるが、フテブテしい"悪度胸"がかってもいるようだ。大きなナでいえば真鯛ではない。骨はバカに多いが、味はウマイ。そういったところが見える。上等に見たてても、ひらめと行かず、イサキか、大鯵位いなものだろう。古い型の政治家のやりそうなことは皆やっている。善、悪両面共に。

◇"われは革新政治家なり。革新的意見を多分に持つ有り来りの政治家とは異っている"匂いを発散させる。見る人が見ればキザな男だ。身を保守党に置く政治家が革新思想とイバッて見たところで"底"は知れたものである。まあ今までのところ大したボロも出さず、勝手な熱を吹きまくって来たが、五十の坂に間もないから、こ[illegible]社会党統一がなり、一選挙やった後もなおかつ、五、六十名もの勢力ができ得て、政界に重きをなす時代が来るだろうか。踏みつぶされはしないだろうか。そのようなことばかり繰返し、不明朗な時代を続けることは、日本の復興を世界から孤立させるというのが、保守合同立役者の考えである。いつまでも政権の中心に座し、ゼニ集めの味が忘れられないのだという非難を受けるユエンでもある。それとも例によって最後までグズッて、適当の地位を占め得て、大同団結して行くだろうか。四十七才当選八回は相当の者ではある。骨のある男ということも認めてよいだろう。ハテどちらを指向するか最後のドタン場まで見届けねば、わからぬ男だ。

三木総務会長

淫鬼小平跳梁す

昭和二十年九月二十八日、終戦直後の東京駅中央線ホームはまだ避難者や買出客でごったがえしていた。身長一五八㌢、体重五五キロという小肥りした男がリュックサックを持った北区中十条の杉下トシ江さん(二〇)にこに近づいて言葉をかけた。これがあの淫獣といわれた小平義雄だったのだ。

『買出しなら、私の知ってる家がありますよ、米を売ってくれる家があります。私も行くから一緒にどうです！』そう誘いかけた。トシ江さんは友人を待っていたのだが、その友人がこないままに彼の言葉を信じて武蔵野線で清瀬村にでかけた。彼は山林中に入ると、この年の七月十五日、ここでやはり買出し娘の紺藤利子(二〇)さんを強姦殺害したと同じ手口で、『どうせ、こんな人気ないところまできたんだ、スカートを脱げ！』と迫り、彼女が脱ぎかけたところへ、栗拾いの子供達が近づいてきた気配に彼女を絞殺し、死姦を行ったのだった。

小平は『十人の女をやった！』といっていたが、彼の裁判での調書では七人の女性が犠牲者としてあげられている。この調書を読むと、女の方があまりに簡単にこの色魔の甘言に乗るのに一驚を喫するのである。（鮭）

河野一郎という男

◇河野一郎が余りにガシャガシャやり捲くるので、師匠格の砂田重政が『オイ河野君、向う見ずに動きすぎるなよ。オヤジさんのように十三年も寝られちゃ大変だ。ソロソロ落ちつくがよい』と注意したら、河野は『大丈夫だ、オレは血圧が低いから、脳溢血など心配ご無用だ』といってますます動き回った。砂田も『初めモズかトビ位に育つかと思っていたら、鷹のような猛きんになり、ボクらの手におえなくなった。傍観するほか仕方がない』とナゲイたことがある。

◇子分筋の安藤覚が『もうここらでおとなしくなって下さい。五年先、十年先には天下に手をかけねばならぬ大切な体ですよ。先を急ぐのも、どうかと思われるが、年中強引に動きすぎると、ツキ殺してやろうと、ネタ刃を合わす者がある。いい加減にホコを納めて下さい。反動が来るから』と時代がかった注意をしたら『わかっている。心配するな』といわれた。河野から活殺権を握られている安藤だから、恐る恐る伺いを立てる程度で、引下がる外ないだろう。

◇外遊前緒方竹虎に会った。何か打ち解けた話でもあるかと期待したが、それらしいツキ進んだ話題もなく、特別に親しさをも感じさせなかった。前国会の幕切れには、自由党は河野に煮湯さえのませた。河野は『オレは今は事実上の副総理、現内閣の実力者だ。朝日新聞以来古いナジミの緒方が、も少し打ちとけてツッ込んだ話をしてもよさそうだ。自由党もオレが保守合同の熱心論者だということを百も承知しながら、国会末期のあの仕打ちは何だ。相手がそういう考えなら、来国会は解散だ。馬鹿にしている』と三木武吉や、岸信介に当り散らした。

◇ワメキ立てては見たものの、人一倍カンのいい河野は、保守合同を断行せねば、乱れに乱れた政界の現状を救うべく"処置ない"ことをよく知っている。『外遊して頭を冷して来るわ、ともかくもそれから後のことだ』と、糸を切らずに一ヵ月半旅路を経めぐって来た。米国では岸の宿屋に何回も出かけて"話合い"は十分出来た。それから戻ってご覧の通りのグルグル舞いだ。

砂田防衛庁長官

◇緒方はどうか。朝日新聞同人とはいっても、河野や、野田武夫はもともと外様で、旧政治部グループの"飯食い会"でも、招いたり招かなかったり、忘れられたりしていた。前国会末期に、自由党がアアした男らしくないイジメ方をしたと、河野が恨んでいるが、吉田派を抱え込んでアノ程度の党内取纏めをしたのも、緒方として相当苦心が払われている。『恨み言ばかりいわれても苦心の方も買わにゃ困るよ』といった腹がある。

◇民主党のある実力者は『河野が緒方に会いに行った時、次期総務会長か、幹事長くらいにはすると匂わせればよい。そのくらいのことが出来ぬ緒方なら、総理大臣にはなれなかろう。緒方は肚のない男だねェ』と笑っていた。側近は『緒方はそのくらいの芸当は出来る男だが、その場に臨んで馬鹿馬鹿しくなりフッと思い止まることもある。人間の性質だから、急には直らんよ。取ってつけたようなことはいえないんだ』お手上げの形でもあった。

10月は縁結びの月だ（鳩山さん㊨と緒方さん㊧）

"先"を読むカンの良さ
今はただ一人の鳩山『引導渡し』役

◇鳩山一郎を舞台上から"引っ込ます"役目は、三木武吉か、河野一郎しかない。この頃三木の方が少し怪しくなって来たので、この役者は河野一人ということになる。世上の眼が"河野に集中"するユエンだ。三木はノッケから『どうせ一身の利害のみ考え、世相を見抜く力のない奴は斬ってすてろ』と大上段に振りかぶり、岸は『当分揉むことですなア、十日でも二十日でも、揉んで揉んで揉てくれ、なるだけ落ちこぼれを少くしよう』と三人三様の色合いを見せてはいるが、実は三人は一ツのものだろう。三人離れ離れになっては、この大事業もバラバラになる。一ツであれば多少の落ちこぼれはあっても、成しとげられもするだろう。

◇三木も河野も"鳩山に引導を渡すまでは、政界の中心的存在"である。緒方に振り替った後の三人の存在は、影が薄くなる懸念もある。あたかも伊藤一刀斎が神子上典膳に印可極意を伝えた後の姿が、枯木寒巌にひとしいものになったように。多くの人から"三木か河野か、フフウン、どうでも勝手に振る舞うがよい"と鼻の先でアシラわれる懸念もある。余りにも強引にすぎ、策謀や力に頼りすぎた彼らの歩いてきた道は、敵が多すぎるのだ。河野はアメリカから鳩山に電話をかけ『ボクが帰るまで、軽井沢から下界に降りるな』といって来た。鳩山は緒方と共同演説のため降りて来る。帰って来た河野は"緒方攻略"に向ってドンナ手を打つだろうか。カンの鋭い河野は、このことを知り抜いている。大芝居を演じ、一汗かいた後に、打っちゃられてはカナワヌ。鳩山の後に第一人者となるであろう緒方に恩を売り、二人目か、三人目か、自己の動かぬ地位をも併せ得て置かねばツマらない。大骨折って鷹に食われるような愚な手はやりたくない。

岸幹事長

◇河野一郎という男、昭和七年立候補、政友会非公認で当選した味方の胎中楠右衛門(故)を片隅に追いやり、ついには引退を余儀なくさせ、地元神奈川県はもちろん、中央政界でもアバレまわった。敵味方から白眼視され、司直や警察関係からも時にイタズラされ、選挙違反もことさら挙げられた観を呈した。河野はこれらとことごとく戦い、スリ抜け、勝ち抜いて来た。身柄を拘束され自由を奪われ、放たれて帰宅するや、女房子供に物もいわぬうちから邸内の小鳥カゴの側により、小鳥を全部放してやり、天空高く自由に飛ばしてやったりしたこともある。それらの小鳥は一時自由は得たが、しよせんは籠の鳥でみずから戦い、みずから食った種族でなく、やがて猛きんに襲われ、あえない最後を遂げたこともある。

◇ともあれ当面政界の実力者河野一郎とはソンナ半面もある男だ。乱れに乱れた保守政界を、どういう手ぎわで裁いて行くか、かれの将来に少からぬ影響を持つこと、政界の有象無象が眼をみはって"お手並拝見"というところ。

世界風流譚（アメリカ）

どこの国も同じで舞台照明係という者は女の子に持てます。これはライト一つで大変に踊り子の存在が目立つので、ついその他大勢組は観客に認識してもらう為にもライトマンにコーヒーの一杯や煙草の一箱もはずむものです。将来はブロードウェーかハリウッドにと固い決心をしているスーザンもなんとか売出そうと懸命です。結局、人の好いライトマンのトミーを口説いて、彼女の出場である群舞やフィナーレの時に、とくに彼のスポットが目立つように頼みました。OKした彼は彼女にサッとライトを当てると一キワ彼女が目立ちます。ところがこんなことはすぐわかるので他の踊子達が彼に文句をいいに来ました。『不都合よトミー…舞台に出てるのは私達大勢よ』『彼女と何かあるの』と皮肉をいう者もいます。『とんでもない、何かなんてあるものか、ぼくはただ彼女のね…』『彼女の？』『亭主の息子と兄弟だというだけなんだよ』

東海毒婦伝 青とかげ (81)
野沢純　土端一美画

秋風帖(三)

知らせを聞いておどろいて、おりうは豊吉ともども、父親の許へ駈けつけた。

地震で、柱に頭を打って以来、尾張屋喜兵衛は、床についたきりであった。

二、三日前から、時折あらぬことを口走るという。

『お父っあん！』

おりうは喜兵衛を呼びかけた。

庭の芝生のあずま屋を、改装して畳を敷いた、仮の病室に、尾張屋喜兵衛はぼんやりと、宙を見つめて仰臥していた。

『どうかなさったの？』

声をかけても尾張屋は、うつろな眸のままである。

清元の延千賀師匠がやって来ても、顔に覚えがなさそうである。

頭を打って以来、ものの記憶が散りぢりになってしまったらしい。

『旦那——』

延千賀が、言葉静かに呼びかけた。

『のぶでございます。わかりますか？』

そう訊きかけても、眸はうつろ。

ぼんやりと、宙の一角を見つめたままだ。

その唇が、わずかに動いた。と思うと、

『玉屋ァ……』

といった。

両開きの幻想に憑かれているらしい。

華やかな一夜の情景が、尾張屋の頭の中の何処かにまだ、鮮やかな色彩となって残っているのであろう。

ひと頃は、あれだけの身代を張って、よろず派手好みな旦那であったのに——と思うにつけても痛ましい。

『旦那——』

呼びかけたまま、延千賀は胸迫ってかハラハラと、思わず泣いた。

いたわしさに、胸は一杯なのである。

延千賀が、尾張屋の前で泣いたのは、これが二度目だ。

はじめは先妻が死んだときである。

先妻のお美代は、延千賀にとって娘の頃から、同じ清元の師匠の許に通って、姉のような間柄であった。

胸を久しく患って、糸のように痩せ果てゝ死んだのだ。

死の幾日か前に、

『おのぶさん——』

と呼びかけて、

『あたしに、もしもの事があった時は、旦那のことは、あんたによろしく頼むわね』

力無い手を握りしめて、そういったお美代である。

『あたしが尾張屋の女房になるのは、はじめから間違っていたかも知れない。おのぶさんであったら、どんなによかったか——といまで思う』

『お美代さん、何をいうの！』

『いえ、いわせておくれな。あたしはあんたが、うちの人を、もうせんから好きだったことも知っていた——』

心の図星を指された気がして、思わずハッと顔赤らめるのへ、

『あんたは、それを匿していた。好きでいながら気ぶりを見せず、口に出さないことも知っていた』

『……』

『まるで、あたしが、それを承知で、奪い取ってしまったようなものだったわ。今こそ改めて、おのぶさんの手へ、返す時が来たのだと思っている……』

そういって静かに目をつぶった。つぶった目から、静かな涙が横頬へ、這いつたわっていた。

二、三日して、それから死んだ。

一周忌を経て、後妻にお直が座ったのだ。

『旦那の様子は、どうだね？』

そこへ鳶辰が、声をひそめて入って来た。

あすの運勢　高島象山

＝九月二十八日＝

▲一月生—何事も漸く気運良好に至り静かに努力して栄昌旅行よし
▲二月生—私欲は困苦を求め私心は地位を害す静粛に進退し無事也
▲三月生—何事も有利に転じ利達あり遠方より吉報あり近くに喜有
▲四月生—物事秩序正しく他意なく稼業に努力して平和円満に至也
▲五月生—物事外に気迷い起り内に不満を生じ易い口舌不和を注意
▲六月生—何事も好調にして利達あるも新規のことや異動変化注意
▲七月生—何事も次第と向上し発展に赴く起業開業移転結婚は大吉
▲八月生—交際外交上に間違い起り易く社交は不利外出乗物は注意
▲九月生—物事晴れやかなる気運に恵まれ楽しく向上発展し栄ゆる
▲十月生—旺盛なる気運に順応して積極的活動してよし開業結婚吉
▲十一月生—家庭の不和で機を逸す或は目下のことで心配苦労あり
▲十二月生—継続的良好の気運ありて何事も進展する移転旅行よし

ラジオとテレビ

27日（火）

	★NHK第1★ 590KC	★NHK第2★ 690KC	★ラジオ東京★ 950KC	★日本文化★ 1130KC	★ニツポン★ 1310KC
6	00 子供の新聞◇ちえのポスト 三鈴恵以子 柳内達生 25 オテナの塔 須永宏ほか	05 英語会話 松本亨 15 きょうの市況 30 大相撲秋場所十日目実況—蔵前国技館から中継—【解説】玉の海 大山渉 担当志村アナ 石田アナ	10 東西こぼれ話 高野アナ 15 スイート・コンサート 25 ドレミファアゲーム(芥川)	00 劇『少年宮本武蔵』 10 劇『すずらん太郎』 25 バンド・タイム	00 ポツポちやん物語 15 劇『少年探偵⑦』真杉和夫 30 歌謡曲 鶴田浩二ほか
7	00 ニュース◇天気予報 30 話の泉 堀内敬三 サトウハチロー 渡辺紳一郎 檜八郎 司会高橋圭三		10 録音ニュース 20 歌うオルガン 松沢宏 30 お好み寄席 落語『ずっこけ』三遊亭金馬	00 録音ニュース 10 歌謡曲 中島孝ほか 30 マンボ日本民謡 NCBラテン・オーケストラ	00 ラジオ夕刊（耳の新聞） 20 花のステージ歌赤荻一夫 30 ミラクル・メロデイ（歌謡クイズ）司会久保田勝
8	00 青空の仲間『名月やの巻』伊馬春部作 榎本健一ほか 30 民謡をたずねて—東北民謡集— 熊谷一男ほか	05 受信機講座 市原嘉男 15 やさしい科学『月をめぐつて』佐伯恒夫 千葉洋二 30 明日の農民新潟蒲神にて	00 剣に生きる人々『塚原ト伝』東野英治郎ほか 30 歌の風車 灰田勝彦 安田祥子 音羽美子ほか	00 家庭音楽会 浅倉アナ 三味線豊吉 高山正彦ほか 30 連続講談『徳川家康』第七十回 宝井馬琴	00 今週の花嫁花婿 三木鮎郎 北上弥太郎ほか 30 演芸バラエティ『水戸黄門漫遊記』内海突破ほか
9	05 ニュース解説 平沢和重 15 連続放送劇『源義経』村上元三作 岩井半四郎他 40 時の動き	00 音楽のおくりもの 歌劇『裸の王様』『河童譚』毛利順子 荒木宏明 東京放送劇団 二期会合唱団	10 浪曲天狗道場 前田勝之助 相模太郎 池谷アナ 40 劇『ホガラカさん』野添ひとみ 轟夕起子ほか	00 歌うバースデイプレゼント 岸井明 楠トシエほか 30 ❶漫談 牧野周一❷落語『名違い』桂枝太郎	00 わたしの選曲 ゲスト宮城千賀子 枯葉ほか 30 火曜劇場『風のように』中村メイコ 長岡輝子ほか
10	15 虹のしらべ アルゼンチン音楽集 わが友に寄す他 40 芸術よもやま話渋谷天外	00 高校講座❶初級国語 鳥山榛名❷解析Ⅰ 山崎三郎 45 気象通報	03 きょうの土俵から 15 劇『人情馬鹿物語』 30 ヴアイオリン協奏曲	00 大学受験秋期実力養成講座 和文英訳 JBハリス 30 解析（Ⅰ）田島一郎	00 劇『南無三宝』本郷秀雄 15 歌謡曲 小畑実 35 三等社員と女秘書
11	00 きょうのニュース 20 釣の秋 宇田道隆作	05 経済の時間 佐藤定勝他 20 医学の時間 山下久雄	08 きょうのニュースから 17 録音『七重浜のキズ跡』	00 秋の夜話『貧乏も楽し』 20 録音『アルプスの無医村』	00 スポーツ・カレンダー 15 三味線の手ほどき

テレビ

★NHK★ ◆5・00 音楽のアルバム◆5・30大相撲秋場所十日目実況（蔵前国技館から）◆8・00 バエラエテイ『気まぐれ旅行記』 有島一郎 ◆9・20 大相撲秋場所中盤特集◆9・20 政治座談会『外交防衛問題を巡つて』

★NTV★ ◆5・00 大相撲秋場所十日目実況（蔵前国技館から）◆7・50 猛獣映画『ジヤングル』◆8・05 朝日テレビニュース◆8・40 ボクシング実況『ダイナミツク・グローブ』◆10・05 テレビごよみ 夢声

★KR★ ◆5・00 大相撲秋場所十日目実況（蔵前国技館から）—ひきつづき◇気象ごよみ◇東京テレニュース◆8・20 お笑いゲーム 池谷アナ◆8・50 劇『伊太八御用』千葉栄 旭輝子 立花新三郎 小野敦子ほか

あすの番組

NHK第1	NHK第2	ラジオ東京	日本文化	ニツポン
7・45 朝の訪問 岡山巌 8・30 趣味の手帖 高安六郎 9・15 主婦日記 和田実枝子 9・45 青いノート友部光子他 10・05 けさの話題 鈴木明 11・15 私の本棚 井上靖作	7・30 市民革命 松田智雄 8・00 療養と食欲 勝沼六朗 8・30 大作曲家の時間 9・00 きょうの学校放送 10・30 日本のむかし桑山正一 11・30 世界名曲めぐり	8・20 ラジオ・スケツチ 9・30 愛の小窓◇婦人と経済 10・10 名作アルバム月夜の傘 11・15 『黒い裾』夏川静江 12・15 ワゴン・マスターズ 1・30 劇『冬の花々』	8・25 おしやべりレデイ 0・30 劇『青春のあるところ』 10・40 劇『君ひとすじに』 11・35 連続劇『東京の人』 12・00 活動から映画へ 1・15 落語『越後屋』玉遊	8・00 劇『サザエさん』 9・00 劇『お笑い一家』 10・00 やりくりチヨ子さん 11・35 歌 春日八郎ほか 12・00 民謡集 寅宝川音頭他 1・00 劇『娘の縁談』葉山都世

社交界ゴシップ 女ばかりのバー
新宿・すらたん

シェーカーを振るのも、ギターにむせびなくような唄を歌うのもそしてサービスの酒をくむのもみんな、美しく知的な女性ばかりとあらば、どうせ、色気をタンノウするなら、あに男性たるもの黙過せんやである。"邪魔者は殺せ"だ。殺さなくっても初めっから邪魔者がいなければこれに越したことはない。つまり、ここは女ばかりのバーである。新宿二幸裏酒庵ゐなかの隣りにある『すらたん』だ。ビール二〇〇円、ハイボール一〇〇円。ノーチップで女性の中には往年のミス・東京もいる。その粒ぞろいのこと銀座のバーでもかなうまい。渋谷南口駅前に姉妹店がある。

恋愛コースの終点
お茶ノ水ホテル

チャチな安宿に泊るより、一流ホテルを利用する方が結果的には安い。これは旅行者ならずとも、宿を利用する種族の定説だが、まして、その一流ホテルが特別値段で部屋を大衆に開放するとあればこれは絶対利用しておくべきだ。場所はお茶ノ水という、閑静で便利な中心地。その名は『お茶ノ水ホテル』である。駅から二分、中央大学正門前にあるホテルだ。

洋風バス、バーもあり、踊るにいい広いフロアもあって、寝具の清潔さは絶対。休憩二人で五〇〇円、泊り一二〇〇円。映画をみてハイヤーで、ここに乗りつけて、ゆっくり語って……二〇〇〇円あればOKという恋の地帯。

飲んで食べて観て…たった百円の『富士屋』

毎晩豪華なバンド演奏とストリップが熱演され、新宿名所として左党に有名な新宿西口線路際の大衆キャバレー『富士屋』テレビファンには階上階下共に鮮度のいい、優秀なのが備えてあるし、洋酒通には店内にトリスバーがあって八等身の美少女がサービスしている。しかも、つい最近大増築してスペースを広くした記念にと、特別サービスをしているというのうれしいハナシだ。

ハイボール五〇円、ビール一五〇円、やき鳥一〇円、清酒六〇円。百円あれば、のんで観て踊ってあわよくばさわれるというケタはずれの安いキャバレーである。

新宿に誕生した恋のルーム
珈琲と洋酒の店『南蛮』

新宿武蔵野館通りのヒカリ座並びに『南蛮』と呼ぶ珈琲と洋酒の店がある。

一階は、恋の二人づれにちょうどうってつけのふん囲気で、しぼった彩光にシックな調度、秋の星座の下に恋を語り合うような、そんなロマンチックな感じの出せる店なのだ。一脚のスタンド、棚の花瓶、装飾の一つ一つもそれに和して、二人を楽しい気分にひたらせれば、ボックスは深々と身を沈めるに足る高級品。その柔かい感触は、いつまでもこうして、ここにいたいと、しみじみと思わせるに違いない。

二階は美しい少女がいて独り客の男性には渇望の甘い雰囲気を作り出している。そっと、訪ずれて、一杯のカクテルか珈琲に時を過し給え。そこはかとなく漂うロマンチズムの香りに、うっとり酔えば、音楽もセミ・クラシックかシャンソンの軽やかなメロデー。珈琲60円、ハイボール50円、ジンフィズ一〇〇円、ビール一八〇円。その他カクテルは何でも出来るし、その上終夜営業という特典がつく。彼女を誘って、計画的に終電を乗り外す、というような手はいかが？

これは近江絹糸以前！
11少女〝どれい〟扱い
赤ン坊おぶって通学
五年間二万円で酷使、虐待
町の有力者 学校もそっぽ

義務教育も終っていないいたいけな十一才の少女を二万円の前借金で五ヵ年間も年期奉公として雇入れ『学校へ行きたいなら子供を連れて行け、但し子守が大切だから登校は隔日だ、登校しても半日で帰ってこい』挙句の果に根性が悪いと殴りつけるなど東京法務局人権擁護部でも顔をそむける少女虐待事件が江戸川区内で発生、同部では調査にのり出した。この事件は学校当局が知っていながら土地の有力者がやっていることだからと内々にして善処対策がおくれ、十ヵ月を経ているにもかかわらず、いまだ解決していないという人権無視も甚だしいまれに見るケースで、労基法、学校教育法、児童福祉法など数々の違反行為が含まれている。

◇この甚だしい人権無視事件の主人公は江戸川区鹿骨(ししぼね)町九四九農業石井春濤さん(五)方使用人、宮城県栗原郡一迫町柳目字一坪五七高橋まさえさん長女みつ子ちゃん(一)=江戸川区立鹿本小学校六年一組=で、みつ子ちゃんは昨年暮も押迫った十二月十五日、二万円で五ヵ年間の年期奉公に石井さん宅へ住込まされた石井さん宅は同町内で五指に数えられる豪農だけに、家族は十二名で家計も極度に倹約され、みつ子ちゃんも普通の子供のように学校へ行くことは許されず『学校へ行くなら子供を背負って子守しながら登校するがいい。それも毎日登校してはもったいないから一日おき位だ。登校した日は午前中だけで帰ってこい。勉強が足りないところは宿題をうんと出して貰って別の方法で学習するのだ』と住込んで以来登校する時は必ず春濤さんの長男昭さん(三七)の長女洋子ちゃん(三)をおんぶして学校の門をくぐるという常識はずれな待遇をうけた。教室で授業をうけている時、背中で洋子ちゃんが泣き出すと勉強の邪魔になるのでみつ子ちゃんは教室を出て校庭で子守しなければならなかった。また休憩時間に同級生が楽しく遊ぶ時間でもみつ子ちゃんは洋子ちゃんを背負って一人淋しく校庭の隅に立ちつくしていた。

◇このような生活を続けるうち去る正月、みつ子ちゃんは三十円の金を持って〝焼いも〟を買いにやらされたが、その時みつ子ちゃんは十円だけ菓子をかってこっそり自分が食べてしまった。春濤さん一家は手癖が悪いと使用人の有路啓市さん(二)=宮城県出身=にみつ子ちゃんをぶたせるなど、この他にも虐待行為がたびたび行われたという。

◇これらの点について労基法五十六条では『十五才に満たない児童は労働者として使用してはならない。特定の軽微な作業でも十二才以上の児童を使用する場合は行政官庁の許可を得て就学時間以外の時でなければならない』と規定しているがみつ子ちゃんが住込まされた当時は十一才で当然保護される年令であり、労働者として使用してはならない児童であった。虐待はもちろん児童福祉法違反であり、子守や労働のために登校を拘束することは学校教育法違反でもある。これは父兄間で評判になり学校当局では吉岡源次校長、担任原きみ子教諭がこの問題を検討したが『土地の旧家でもあり話合えばわかる』ということで去る六月ごろ『子供をつれて登校すると他の子供が迷惑するから考えてほしい』と申入れた結果、二学期からは一人で登校させることになった。

◇また江戸川区役所鹿本出張所=所長岡村徳寿氏=ではみつ子ちゃんの出席日数が少いためその実態調査を行い、学校に対してみつ子ちゃんの正確な出席日数を報告するよう申入れたが、学校側では『善処するから』というきわめてあいまいな返事を繰返すだけで、三ヵ月を経た今日なおこの報告がなされておらず出張所でもこの無責任で非協力的な学校側の態度を怒っている。

鹿本出張所長岡村徳寿氏談=石井さんは鹿本の有力者で五本の指に数えられる農家である。殴った回数も相当あると聞いている。六月末出張所として少女の出席日数を報告してくれるよう学校にたのんだが、いくら連絡しても教えてくれない。東京法務局から資料を出すようにいわれているが、この報告ができず困っている。

船井教頭談=善処している。いまよろこばしい結果が出ているのだから問題はないではないか。出席日数が必要なら都教育庁の方へ報告してあるからその方で調べてほしい。石井さんのことは父兄だから学校としては何ともいうことはできない。

石井春徳さん談=六月ごろ学校から子供を連れてこないよう連絡があった。いまでは一人で隔日登校、半日で下校させ午後は家庭で手伝いをさせている。みつ子は前借二万円で五ヵ年間奉公するよう話合がしてあるが悪ければ実家へ帰すつもりだ。

酷使される高橋みつ子ちゃん

関東に接近のおそれ
台風22号今夜四国南方へ

台風二十二号は二十七日朝潮ノ岬南方八百キロ付近を進路を西から北西に変えゆっくり進んでいる。中心付近の最大風速はいぜん六十五米に達し、関東、東海道方面はその余波を受けて強い雨が降りはじめた。台風は今夜から二十八日朝にかけて四国南方で進路を北東に変え二十八日夜には関東、東海道付近に接近するおそれが強くなった。

中央気象台予報課では

▽今晩から二十八日朝にかけて四国南方で北東に進路を変え二十八日夜関東、東海道方面に接近する。この場合九州、南海道紀伊半島の太平洋岸ではかなりの雨、関東、東海道方面は雨と風の影響が強い。▽このまま進んで九州南方を抜けるか、進路を北に変えて西日本に上陸すると被害はきわめて大きい。その二つのコースを予想しているが、目下のところ関東方面に接近の公算がきわめて強いとみている。

硫黄島は被害甚大

二十二号台風はキャサリン台風以上の猛威といわれ硫黄島では鉄筋の米軍々事施設がさながらアメの如く暴風にふきまくられ無残な残骸をみせている。なおこの前触れが高知県には早くも高潮に伴い強風があり今後の台風進路が注目されている。

【写真は高知県で荒れ狂う台風22号とアメのように曲った硫黄島米軍敷設の鉄骨】

拳銃アベック強盗
けさ銀座の喫茶店襲う

二十七日朝八時五分ごろ中央区銀座二の四洋食喫茶店ハリウッド=経営者渡井昌子さん(三七)=で出勤間もない給仕の市川純子さん(一八)が一人で開店の仕度をしていたところ、表で雨宿りをしていたアベックが店に入り市川さん以外には人がいないことを確めてから『乱暴しないから静かにしろ。コックめようとすると賊は二人でなぐりつけ全治十日間の傷を負わせ洋食用のナフキンで市川さんの首を絞めこん倒させた上金庫に入っていた電話代二千八百円と両替用の小銭二百円を奪って逃走した。

京橋署では強盗傷人容疑で手配したが、男は一見三国人風三十三、四才五尺三寸位、角刈色浅黒[illegible]妊娠していたようだった。

同署ではマダムやコックの名前を知っているところから、同店に面識のある者の犯行とみて捜査している。

〝大関〟めぐり激突する三力士
呼び声高い時津山
決死の若、11勝なら実現？

秋場所の全勝は、鏡里[illegible]

[illegible]た九日目の土俵などは余程の自信がなければでき得まい。最近の調子は一場所置きで今場所は好調の番。しかもここしばらく態度に安定味が増した反面、かつての大物キラーの名を忘れた彼が久し振りに随一の苦手大内を制し、若の闘志はかつてみないほど[illegible]

[illegible]力士仲間も批評家も嘆く彼の異能は体がないのを理由に大関の道を遠しとするのは当らない。十二勝なら確実だが十一勝でも宿願を達しようし、その可能性は十二分にある。

〇…時津山はべら棒に強くなった。場所前評ばんの栃、大内が期待に反しているいま時津独り嘩適の実力を誇っている。その体格は大関の貫録を備え、取口の安定も三者随一である。優勝一回の経歴が示すように今場所十三勝以上挙げて大関はおろか優勝をもうかがえるのは彼しかない。なれば彼の大関への呼声が最も高いのだ。返り関脇のこの場所、信夫に必死のすくい投げに不覚の一敗を喫した以外八勝、今後の強敵は千代、吉葉、に若、松ぐらいしかいない現在、最有望はやはり時津ということになろう。

時津山

若ノ花

松登

過去九日間成績

秋場所十一日目取組

(東)	(西)
羽咋山	高錦
二豊山	輝昇
大戸崎	大龍
若ノ里	森ノ里
秀ノ花	松緑
神薔	福ノ海
執後山	早風
鶴波	鯉ノ勢
前ケ潮	増巳山
白雄山	東海
常錦	神生山
小野錦	松井
伊勢錦	那智山
玉風	太刀風
福ノ里	起雲山
八染	大田山
剣龍	岩風
緋縅	豊ノ花
鬼龍川	秀錦
平鹿川	秀湊
広瀬川	七ツ海

=中入り=

(東)	成績	(西)
大瀬	0—0	平戸
出花	0—0	時錦
芳野	0—1	若羽
前山	0—0	吉井
清水	0—0	星甲
白龍	0—2	泉洋
楯甲	0—0	神錦
清恵	1—3	若瀬
若葉	1—4	大天
大晃	7△—0△	国登
島錦	0—0	桜国
双龍	3—3	二瀬
大蛇	0—2	宮錦
潮錦	5—4	常山
成山	1—3	北洋
若前	0—1	栃光
鶴嶺	0—0	出錦
大昇	1—0	若海
出湊	2—2	琴浜
羽島	1—0	安念
鳴門	2—3	朝潮
大起	2—9	時津
大内	5—1	玉海
千代	10—5	若花
信夫	2—4	鏡里
松登	1—6	吉葉

(数字は勝数)

少女を旅館に連込み暴行
とんだ〝採用試験〟

[illegible]

名士連から三百万円
前科15犯の恐喝男送検

北沢署は二十七日朝台東区浅草山谷三旅館正徳館内自称外交員粕谷[illegible]佐々木茂楽氏から千円、本年一月十日有田八郎氏から三千円、六月長谷川一夫氏から三千円など十人千二百名、被害総額三百万円に上る恐かつを働いていたもの。福田は犯行後被害者の名前を『被害者紳士録』に記入していた。

酔い潰し少女を暴行
練馬で不良四名逮捕

署では二十七日朝までに板橋区板橋五の五二六一無職山田栄(一)同町六の五〇三七同小沢博(三)区志村西台町一二三五同山口(二)埼玉県北足立郡大和町白粉八工員榎本正吾(二)の四人を容疑で検挙した。調べによると月二十七日夜十時ごろ四人で区練馬北町飲み屋『B』に行き同店に手伝いにきていた練馬区某中学校二年生少女F子さん(一三)に『きれいになりたかったらビールを飲むんだ』と持ちかけ、ビールの中に焼酎をまぜて酔いつぶし『酔いには果物が一番きく』といやがるF子さんを表へ連れ出し近くの物置で四人で輪姦、二週間の裂傷を負わせ気絶させたもの。

欄干に激突二名死傷

二十七日午前二時ごろ足立区千住弥生町三二東武電車陸橋で中央区銀座東八の一一田中機械業商店運転手沼倉正男君(一八)は同店田中俊男さん(三三)とオート三輪を運転して仙台から銀座の店に帰る途中運転を誤って陸橋の欄干に激突、二人とも近くの佐々木病院に収容されたが沼倉君は頭蓋底骨折で間もなく死亡。田中さんは頭部内出血で瀕死の重体。原因は西新井署で調べているが沼倉君の居眠り運転らしい。

同性愛の大学生が心中
一名死亡

二十七日午前十一時半ごろ豊島区西巣鴨三の七〇三大工樋口義明さん方下宿人東洋大学国文科二年大井博士君と同校一年鈴木修身君(一八)がガス心中をとげているのを同家のまつえさんが発見したが大井君は死亡、鈴木君は重体。巣鴨署で原因を調べているが、同性愛的なところがあり覚悟の同性心中とみている。

千駄ケ谷で飛込自殺

二十六日夜零時半ごろ国電中央線千駄ケ谷駅で若い女が同線下り中野行き電車に飛込み自殺した。所持品から世田谷区北沢四の五二一大角方女中大倉とし子さん(三)と判ったが、遺書もなく原宿署で関係者から事情を聞いている。

新宿に悪質特飲店

警視庁保安課風紀係では二十六日夜新宿区新宿三の五八特飲店『桃山』経営者浅倉えい(三九)を児童福祉法と婦女管理ならびに勅令九号違反容疑で検挙した。調べでは浅倉はさる二十八年春ごろから新聞に『カフェーの女給を求む』と新聞広告を出し、集ってきた十七才の少女一名を含む十名の女を雇い売春を強要していたもので、玉代は折半とし一日二百円の食費をとっていたもの。

代田橋の火事
六棟三百四十坪を焼く

二十七日午前三時十分ごろ世田谷区大原町一二四二京王線代田橋駅前銭湯『山の湯』(経営者松本忠夫氏)のカマ湯付近から出火。木造二階建の同建物八十坪と隣接の大同自動車修理工場木造二階建長屋、民家など合計六むね約三百四十坪を全焼、同四時三分頃鎮火した。このさい松本さんの実父忠太郎さん(七一)は病気で二階に寝ていたため逃げおくれて焼死した。北沢署で原因を調べているが松本さん方の残り火の不始末らしい。

龍泉寺で52坪

二十七日午前三時四十分ごろ台東区龍泉寺町三一七菓子製造御業飯島実さん方から出火、木造平屋工場一棟、同二階建住宅一棟二十坪、防火作りニ階アパート一棟六世帯など計五十二坪を全半焼して同四時二十分ごろ鎮火した。坂本署で原因調べ中。

日本ついに失格
5—0 コロンビアに完敗
世界ノンプロ野球

【ミルウォーキー二十六日発UP=共同】第一回世界ノンプロ野球選手権大会は二十六日第四日を迎え午後六時(日本時間二十七日午前七時)からミルウォーキー市カウンティ・スタジアムで日本対コロンビア戦を行ったが0—5で日本が敗れた。これで日本は二敗したため失格した。

あすのスポーツ　△プロ野球　巨人対広島、国鉄対中日(五時、後楽園)大洋対阪神(六時、川崎)東映対毎日(七時、駒沢)△東都大学野球　専対学、中対駒(零時半、神宮)▽ボクシング　フライ級オープン戦、三迫対大上(六時、芝公会堂)▽大相撲秋場所十一日▽競馬　浦和

『秋色彩点』本日休載。

本紙愛読者優待

〝空手道〟が団体的スポーツとして普及発達することり、国民の体位は向上し、能率向上、生活改善が招来され社会的幸福がより一層増進されることを期し、ここに大会を催します。

挨拶　参議院議員　伊能繁次郎　本社々長　蔡長庚　錬武館顧問　石黒敬七

出場選手　島田理之(二)藤治(初)高木戦一(初)藤井八郎　須賀信行(二)島田光春(初)　済(初)糠永真理人(初)大木　(二)小島利雄(二)山本吉彦　木原秀雄(初)出竹浜二(二)　亮(初)竹村高雄(二)島村繁明

続 情炎の千代田城

岩崎栄　寺本忠雄画　(251)

御下問（三）

江戸城が、水色に澄み切った空へ、絵のような姿を浮かべているさわやかな朝だ。

勘定奉行荻原近江守重秀が登城して、勘定所に出ると、茶を持って来たお坊主が、

『早速でございますが』

『うむ、なんじゃ』

ふだん充分に鼻ぐすりをきかせてある腹心の茶坊主なのだ。

『上様早朝からの御出御にて、間部様並に新井様をお呼び寄せの上もはや半刻あまりも、一さいお人払いにて、何やらしきりと御密談の様子にござります』

忠義だてに、それとなく重秀への不安を告げるのだった。打てば響く、早朝から閨房にうつつをぬかしている筈の家宣が、間部と白石を召して……不穏だ。白石が居る以上、自分にとって、ロクなことは相談していないだろう。来た！と悟った。わかり切っている。改鋳に関して、またしても白石の将軍煽動である。怪しからぬ奴！

ギリッと奥歯を噛みしめているところへ、果して、別なお坊主が現われた。

『上様、お召しにござります』

『よし、すぐにまいる』

余裕しゃくしゃく、受けて立つ充分の肚が出来ていた。悪貨改鋳に対する攻撃に対しては、あらかじめ充分の防備を立ててあった。

そもそもこのたびの吹替えは、金貨だけを、元禄金千六百万両の原材をもって、二千万両の新貨に改鋳するという条件で、家宣は許可したのである。つまり、金質をよくして、目方を半減しようというのである。その結果として、ここに、二万八千貫の銀地金が浮き出して来た。この浮き上った銀塊の大部分は、無論、銀座役人と重秀とで着服した。だが、浮いた銀をどうしたかと問い詰められる場合を予想して、その一部で、銀二分銅八分というたいへんな悪質銀貨を、これは無断で勝手に改鋳したのであった。

（無断ではあるが、これをやらなくては、公庫の窮乏が何ともすることが出来ぬ。出来る方法があるというならばやってみろ）

重秀の自信はここにあった。フン、どこからでも衝いて来い。彼は傲然として将軍の表御座所に出かけて行った。

行ってみると、彼より先きに、勘定吟味役の杉浦弥太郎と、同役藤原源左衛門が、すでに白石の取調べを受けているところだった。

しかし重秀は驚かない。こうしたこともあろうかと、前以て、そのせつはかくかく、かように申開きなさるようにと、弁明のことばを与えてあったのだ。二十年もの間、重秀の目付役をつとめながら、この両人は、たんまりと、重秀から袖の下を貰っている。完全に飼い馴らされた忠犬と化しているのだ。

一段高い〝将軍の座〟をうしろにして、右に新井白石、左が間部詮房。

重秀の姿を認めた白石が、二人の吟味方に、

『よし、それにて退出せられよ』

訊問を打ち切った。二人が退出すると、白石は威儀を正して一段と声を励ました。

『荻原近江守殿！　御上意をこうむり、ただいまより上様に代り訊問仕る』

（訊問？）重秀は心臓に匕首をつきつけられたような気持がした。さりながら、これはシタタカな曲者である。わざと、

『御下問でござろう』

突っ返した。訊問となると、これは頭から、罪人扱いなのだ。そんな扱いをうける自分ではないぞという言外の抗議なのだ。

『御下問ではない。訊問でござる！　うろたえめさるなッ』

ピシッと、一刀をたたきつけた。

苦境に立つ新東宝の内幕

服部知祥氏　渡辺邦男氏　星野和平氏　大蔵貢氏　佐生正三郎氏

『しいのみ学園』『ノンちゃん雲に乗る』などの佳作、話題作を製作したものの、新東宝は[illegible]『総けっ起運動』のスローガンも[illegible]といった状態で『総けっ起運動』を続けているようだ。そこでその内情に[illegible]

条件で折合わず

大蔵氏乗込み立消え

六、七月の興行成績も不振

『ノンちゃん…』『しいのみ…』を次々と封切った六、七月の[illegible]でもトップクラスの東映、[illegible]三億八千万円に対して新[illegible]億の線をわずかに割る[illegible]た。そこで外部の支払いを[illegible]節約した模様で、出入りの[illegible]人の間には支払いを四、五[illegible]させられたものもあったと[illegible]当然外部からの資本導入を[illegible]わけで、既報のとおり先ず[illegible]行の社長大蔵貢氏の引出[illegible]た。大蔵氏としても実弟近[illegible]と協力して富士映画を経営[illegible]ることもあってこの新東宝[illegible]は大いに食指が動いたよう[illegible]件として『元新東宝社長佐[illegible]郎氏を配給担当重役にし、[illegible]般を大蔵氏にまかせれば、[illegible]して二億円を持ちこむ』と[illegible]を出した。新東宝側ではこ[illegible]条件降服に等しいという見[illegible]てついに大蔵氏の新東宝入[illegible]はこのところ一時立消えの[illegible]

資金面で行悩み

[illegible]もできずまことに困った。金[illegible]くなった原因として大阪支店[illegible]千万円の不渡手形の発行など[illegible]う問題もあったようだ』と某プロダクションでは語っていれている。渡辺邦男企画本部長、星野和平撮影所長という映画ベテランがそろっても、この問題だけは服部知祥社長に一任せざるを得なかったわけで、渡辺部長などは相当の私財までつぎ込んでいるといわれる。その上本社のある鉄鋼ビルに移転するについても約八千万円の権利金がいるといわれ、ここらに運営[illegible]したといわれ、[illegible]見通しについても至らないものだったという意見も出ているようで、二十七日の株主総会を前に服部社長は『後楽園資金がこん後とまるということは絶対ない』と語り士気を鼓舞したが、いずれにせよこの総会は新東宝の今後を決定する重大な山になっていることは間違いないようである。

藤本プロ、年内は現状のまま

藤本プロは社長藤本真澄氏の取締役就任で今後の成り行きが注目されているが、現在仕掛中の作品を残しており、また重役会の意向もあって年内現状のままとし、その後については来年に入って協議する。なお仕掛中の作品は東映『続・白鳥三平』新東宝『風流交番日記』『この十年』の以上三作品である。

女ばかりのマンボ楽団誕生

マンボ・ブームにのって女ばかりのマンボ楽団が誕生した。その名は『マンボ・ザ・ポッピン』というチームで、メンバーは行平三保子（リーダー兼トランペット）村上美恵子（ピアノ）中村時子（ベース）港栄子（ティンバル）南条環（コンガ）瀬戸川藤子（ギロ）岡田由美子（マラカス）荻野早苗（トランペットとボンゴ）松本マリ子（歌とクラベス）の九名で、このうち港、南条、瀬戸川（いずれも多摩川園歌劇団出身）の三名が演奏の合間に踊りを担当するほか、構成・振付の灰原明彦、森有希子のマンボ・デュエットが踊りまくろうというわけ。今のところ十月東京宝塚劇場の第二回東宝歌舞伎『忠臣蔵・お軽と勘平』で東京にデビューする話が進められている。【写真はそのマンボ・ザ・ポッピン】

文楽会館元日にこけら落し

人形浄瑠璃を常打ち興行とする文楽会館は、大阪旧弁天座跡に目下工事を進めているが、本年末には竣工の予定もつき、十二月二十八日に開場式、来春元旦初日で豊竹山城少掾、吉田文五郎らの文楽座記念興行でこけら落しを行うことになった。同館は工費一億五千万円で設計は芸術院会員、吉田五十八氏の手になり、定員は九百八十名となっており、開場後は文楽人形浄瑠璃を年六回定期的に行うほか、舞踊、新劇公演に広く提供する予定という。（大阪発）

ぶどうの会

芸術祭参加国民劇場第十三回公演として、フェデリコ・ガルシア・ロルカ作、山田肇訳『ベルナルダ・アルバの家』（演出岡倉士朗、山田肇共同）を十月一日—十日まで、神田一橋講堂で上演。ロルカは一九三六年のスペイン内乱でフランコ軍に殺された詩人で、こんど上演されるものは『イェルマ』『血の結婚』とともに彼の三大戯曲といわれる代表的作品。出演者はほとんどが女で山本安英のほか磯村千花子、北京子、江家礼子、福山きよ子など同座の女優が総出演のほか女子大学生その他多勢が特別出演する。

洋画の新人群像 ③

ラス・タンブリン

（十）年二十才になるまで[illegible]

[illegible]『踊る』のときはやっと十四百になったのだが、またせで十六貫目代を上下しているという。[illegible]スだけでなく[illegible]はピアノ、ドラム、タ[illegible]ルなど何でも[illegible]意なのだか[illegible]これから体重[illegible]しくれればフレッド・アステア、ジーン・ケリーに[illegible]くミュージカルスターとなり[illegible]た。

（彼）は持ち前の気性質でケレン[illegible]いところか[illegible]にも好感を持しており、ハリウッドでは〝街の坊や〟で通っている。全[illegible]百万の女学生のあこがれの的でもあるという。女学生たちはラスの中に第二のヴァン・ジョンスンの面影をかぎつけるのらしいが、タップはふめる、彼の歌はやるせない気分にみちている。かと思えば情熱的なところも見えて、白い歯をのぞかせてニターッと笑ったときは実にステキーッ！　というのである。このデンでラスは彼の回りによってくる女性すべてに博愛家だ。デイトのたびに相手がかわっても、彼の方はいつ見てもむつまじげによりそい、語らい、さんざめくのテイタラクである。それでいて誰からもうらまれないのは、彼が一夫多妻を信奉するモルモン教徒である余徳で、そのへんのコツを心底から心得ているからに違いない。『暴力教室』のプレミアショウのときマーガレット・オブライエンに電話したところがすで先約があって断わられ、ままよと一人で出掛けたのはいいが、その夜おそくには早くもアベックで彼女の前をデモンストレイション。オブライエンもこれには驚いて〝あの方少しクルクルね〟と感心したそうだ。

（今）冬か来春『渡るべき多くの河』でロバート・テイラー、エリノア・パーカーらにまじってわが国にもお目見得する。彼にしては十二本目の映画である。趣味はドラムの作曲作詩、レコード収集はクラシックからホット・ジャズを含めてすでに千五百枚の凝りようという。（Z）

〝街の坊や〟で通る

女学生ファンのあこがれの的

堀恭子（日活）

[illegible]ご多聞に洩れず彼女も昨年度の[illegible]なのである。といって[illegible]テストの結果なのだから、まずは本もののミス美人に違いない。

デビュー作品は『お役捕物帖』の町娘だった。生れと育ちが京都なのだからこれは評判もよろしいし、続いて『人生とんぼ返り』では[illegible]さんの役という。日活の堀社長名をつけて貰った幸運が、いたに糸を引いているというわけだろう。しゃべる言葉は幾分[illegible]とした甘さがある。[illegible]も娘役で育っている間はプ[illegible]といえよう。本名野々村由紀[illegible]

新人山脈

歌舞伎漫語

父のけいこ

尾上梅幸

けいこ　このたびごとに亡くなった父（六代目菊五郎）の厳しさを想いだします。必ずしも女形ばかりではなく、けいことなればすべてそうですが、父の場合、親子の境い目などは念頭にないのでした。『鏡獅子』のけいこで夜を徹して朝の五時まで、それこそ水一杯も飲まさないのです。飲んではいけないというのです。女形というのに寒中でもパンツ一枚、まさにデッサンです。名古屋の西川静（鯉三郎妻女）さんもよく一緒に踊りをけいこしたが、女性でもやはり肌着一枚だけ。それでも、それこそ流汗リンリ、寒さなんて少しも感じませんね。これがわが父であるか、師匠であるか、と情けなくなるほどのはげしさで、これでもかこれでもかと続けるので涙も出なくなり、ついには頭が痛くなるんです。そして随分口汚なくボロクソにのしられるんですが、決して手をあげるようなことはなかった。

昔は　よく女形の心得として、ひざとひざのあいだにはさんだ半紙を落さないようにというようなことも聞いてますが、なにしろパンツ一枚ですからそんな必要はない。すべて見通しですから少しもスキは出せません。前こごみで猫背にならぬようにと、背中から両方の肩甲骨をグッと引きよせられる痛さは、またなんともいいようのない辛さですが、あとはなるほどと判る。疲れからどうしても前こごみになるのを押えるんですが、これは女形の心得として第一条件ですね。

で、けいこ中は水のかわりに輪切りのレモンを口へ入れてくれるのですが、はじめはにがいのが、やがて甘味さえもしみ出して来て、これは本当に忘れられない美味といえましょう。このときばかりは泌々と父の有難さを味わったものでした。

楽屋の尾上梅幸

東横ホール十月興行

東横ホール十月興行は六日初日。菊五郎劇団若手に芝鶴、田之助、源之助、秀調、愛之助が補導参加。番組は異色作が並び、昼の部『鼓の里』『鎌倉三代記』『お夏狂乱』『切られお富』夜の部『鏡山』通し『戻り駕』『三人吉三』と決定した。

おしゃべり横丁

通信簿改正

—チェッ、わかりにくい方がいいんだがな。　—子供

都々逸

小沢扇太郎選

窶んで呉れるだろうもうある筈のものが見られぬ三月ぶり　船橋・今井ちさと

なんの土産もない甥世帯せめて駅まで送るだけ　上十条・松本いはを

つまずく石にもえにしはあった旅にかしずく一夜妻　墨田・鈴木忠彌

どちら向いてもアベックばかり一人じゃかえって怖い道　前橋・川端柳

虫が鳴いてりゃ私も泣けて秋が淋しいひとりぼち　長岡・鈴木六可仙

◇

生れ変って男になってなおして見せたい秋の空　選者

はと笛

▽…東宝の『ジャンケン娘』では巻頭のタイトル・バックにグウ、チョキ、パアの三つの手が出てくる。勿論この手はひばりのチョキ、チエミのグウ、いづみのパアという彼女らの手なのだが、撮影中はもっぱらこれが彼女たちの呼び名になってしまった。

▽…つまり『グウちゃん本番だよ』といえばチエミがのこのこ出てくるといった案配だ。ところがこれで面白くないのがいづみのパアで、彼女『パア、パアいうなよ。まるでアタシがパアみたいだわ』などといっていたが、杉江敏男監督に『やっぱりいづみちゃんはパアの感じなんで……』といわれて彼女『いいよ、どうせアタシはパアなのよ』とひがむこと、ひがむこと。【写真は雪村いづみ】

東千代之介、ビクターで吹込み

中村錦之助（コロムビア）勝新太郎（テイチク）と並んで若手時代劇スターの東千代之介が近くビクターで流行歌二曲を吹込みする。デビュー盤は『名月浪人ぶし』（作詞弾正あきら、作曲吉田正）『花の千両役者』（作詞山田直道作曲利根一郎）で、作詞は去る五月から全国募集で選ばれたもの。

迫力ある探検映画

緑の魔境＝（伊ポンツィ・プロ）

映画やぶにらみ

▽…四名のイタリア探検隊が数年前、南米をブラジルからパラグァイを経てボリビア、ペルーまで、大西洋岸から太平洋に抜ける行程一万二千五百キロを二台のジープで六ヵ月かかって横断した間の長篇記録映画。普通のこうした記録ものは十六ミリのを三十五ミリに拡大するが、これは絶えず軽飛行機と連絡を取りつつ運んで貰った三十五ミリを使っているので、画面はディズニーの『砂漠は生きている』などよりも鮮明だ。

▽…南米大陸の自然と人間がこれほど丹念に紹介された映画は初めてだ。世界一の瀑布、大農場、原始林、蝶、小鳥、けもの、魚、土人の祭典、世界一の高所にある湖、船体も帆もワラで編んだ漁船などが、やわらかい色調のフェラニア・カラーで次々と紹介される。中でもっとも強烈な印象を残すのは、多数の牛や人馬を渡河させるため、一頭の若い牡牛をピラニアと呼ばれる凶暴な小魚の餌食にさせるシーンで、人間たちの陽動作戦にひっかかった数百尾の魚が、先乗りの牛に押し寄せる。先ず苦しそうに暴れる牛の回りには水面一杯に血が流れるが、次にノコギリのような歯で皮と肉とを破った彼らは忽ち内臓に食い入る。眼を見開いたまま忽ち息絶えた牛の周りを、かすれた笛のような歯音と水音を立て、目にもとまらぬ早さで泳ぎながら見る見るうちと白骨にしてしまう。

その一部始終を非情なカメラの眼が描いて行くが、全く息詰るようなすさまじい迫力を持った自然のドラマだ。

▽…こういう作品を見せられると、人間生活の上に占める映画の力の偉大さというものをいまさらながら感じさせられる。従来とかく原始的な土俗を見る白人の目には、人種的な優越感や、単なる研究材料的な見方がうかがわれたが、ここにはそういうものがなく、素朴なものはそれなりに尊重しようとする温いヒューマニスティックな見方も感じられて気持がよい。（透）

……毒蛇を呑み込む大蛇……

その道をきく

どんな商売でも、権威、成功者と呼ばれる迄には、それ相当の苦難もあろう。そこをどう乗り越えたか？　〝その道をきく〟のは、以って他山の石としたい念願にほかならない。

暦といえば神宮館

銀行、会社の利用も激増

神宮館が創設されたのは明治四十三年、先代木村氏が辛苦りゅうりゅう今日の大をなす礎を築いたもので、一時は露店商にまで身を落し苦学力行の中から九星暦の刊行をなし遂げたものである。

現在の当主木村金吾氏は先代の長男だが、学窓を卒えると同時に父を援けて神宮館の経営に当り、戦後は独力で復興させたのだから同氏の手腕にも並々ならぬものがあろう。昭和二十五年の五月に株式会社に改組、初代社長に就任しているが、寸暇があれば全国を旅行、こよみの売行と地方事情を探って歩く熱心さで、場合によれば、飛込から注文取りまでやってのけるほどの努力家でもある、まだ同館では神宮暦（六種）のほかに数々の易書も刊行、さらに戦後は高校教科書の傍用に化学実験書の出版、出版界にも特異な存在として認められているが、同館の発展はまさに洋々たるものがあろう。

神宮館　社長　木村金吾氏

神宮館の暦（こよみ）といえば知らないものはないほど昔から家庭には、なじみ深い。古びた農家の茶の間にポツンとぶら下ったこよみには微笑ましい人生が感じられる。戦前は日本内地はもとより遠く満州、台湾、朝鮮の隅々にまで送られて、都会といわず、農村といわず永いこと愛用されてきたこの神宮館も戦時中は軍部の手で弾圧され、一時姿を消したが、戦後再び復活、近頃では自家印刷工場を持ち、約六百万部を発行、アメリカにまで輸出されている盛況である。こよみといえば戦前戦後を通じて××暦と称する類似品が続出、神宮館の向うを張ったが、結局太刀打が出来ず、次々に消えてしまったことは神宮館の前には敵なしの根強さである。

なお、この暦の表紙に、会社、銀行の名を入れて、得意や関係者に配ばらせる方法も昔から利用されており、目下出雲大社を始め都内一流会社、新聞社などが業務用に使用している。三千部以上の注文には喜んで応じ、五日間で調整、配達するというから、この方面の活用も年を追ってさかんになるものとみられている。（台東区西町二、電話（83）四三二七・一六三八）

人生への感謝の心

美しい心の人栗田英太郎氏

糸業界の大御所的存在、日本橋室町一の『金亀糸業株式会社』の社長は栗田英太郎氏である。

創業明治二十六年というから、堂々たる老舗だが、栗田社長は三代目『ちっとも苦労しませんでした。苦労はみんな店員がやってくれるので、私は只ボンヤリ店にいるだけです』と、功を店の者に譲って淡々としている。この態度は、さすが老舗の大旦那を思わせる風格。

金亀糸業KK　社長栗田英太郎氏

東京糸問屋同業会の副会長として業界でも活躍しているが信条は〝いつも感謝の心で仕事する〟ことだという。お客さまに対してだけではなく人生、食べて着て、寝るという全てに、常に感謝の心を失わぬ美しい人だ。

慶応の商工部出身。学生時代はボート部選手として活躍したスポーツマン。現在も、柔剣道にはげみ、柔道初段、剣道二段の腕前だ。毎朝剣舞もやっている。

温情社長の渡辺さん

丸五で通る裏地界の明星

合資会社丸五商店といえば、洋服裏地の専門卸商として洋服屋さんなら誰でも知っている。店舗は神田鍛冶町三ノ三。社長は渡辺隆三氏である。創業は明治十六年、現社長は三代目だ。

十七年企業整備で営業をやめ二十六年再開したときは、立ちあがりの遅れでとても苦労したという。しかし〝とかく苦労知らずの三代目には、これがよい薬でしたよ〟とニッコリするあたり、仲々人間的な魅力に富む人だ。

決して家族主義的な理由ではないが、店員の将来の為とあればかなりきびしい躾けもする。しかし、根に温情があるから、店員の方でも感謝こそすれ、決してウラミに思ったりはしない。再開早々東京洋服裏地卸商協同組合の理事長に就任、現在まで三期つづけているのもこの人格の為だ。四十四才、山梨県の出身。趣味に長唄をやる。

合資会社丸五商店　社長　渡辺隆三氏

国際水準を抜くレンズ

『ザイカ』発売の立役者

小型シネレンズ界に、最近0・95の新レンズを発売して、日本よりむしろアメリカで大センセーションを捲き起したのは、新宿戸塚一丁目に本社工場を有する『株式会社ザイカ』である。

非常に明るいレンズで、今や小型映画愛好者間に知らぬ者ない程の売れ行きだが、この世界的レンズを苦心して創り出した功労者は余人ならず、社長の上代格氏である。自から小型シネの愛好者で絶えず研究を怠らなかった賜だ。上代社長は十八才でドイツに渡り光学の研究を十数年間ミッチリやって、帰国後もこの道一筋を歩んで来た生粋のレンズッ子。昭和二十六年の創業で、この業績を示したのも、こうした永い間の研究が実を結んだものといえよう。

株式会社ザイカ　社長　上代格氏

珈琲を大衆のものに

信条実を結ぶ日も近し

木村、アートと並んで、日本の珈琲業界の三羽烏の一つといわれるのは『渡辺珈琲店』である。社長は渡辺学氏。現在銀座西二丁目五番地に堂々たる店舗を有し、外交員三十数名を使って全国に雄飛しているのだが、創業は昭和五年当時は浅草雷門で、馬道にミルクホールを経営していたに過ぎぬ。しかし、持前の研究心と負けん気が、次第に珈琲業界への闘志を炎え立たせ、戦後間もなく卸商として独立した。〝珈琲はあくまで大衆のもの〟という信条が実を結び、十年にして今日の大を成し遂げたその腕は業界でも非常に高く買われている。この信条は今日でも全然失っていず『いつか大衆本位の三十円でうまい珈琲を飲ませるミルクホールを開きますよ』とうれしいことをいう。東日本珈琲組合理事、株式会社知友倶楽部取締役。電話京橋（56）二三四七・六五九二。

渡辺珈琲店　社長　渡辺学氏

奉仕で信望に応える不屈の人

KK青木発展史

鞄で名高い『株式会社青木』は問屋街日本橋小伝馬町三ノ五にある。創業六十年を誇る斯界の老舗で、現社長は二代目、飯塚正治郎氏だ。業界の異才として信望も篤く、絶えず新しい商法を編み出して業界に新風を送っている〝父が非常に厳格で、商業学校卒業当時の不景気のどん底時代に、しっかりきたえられました〟と語るその奥には、厳しい試練を経て来た人の不屈の信念と、父への感謝の瞳が光っている。お客大事とひたすら商売熱心なのも、東京鞄組合の会計、理事を三期もつとめているのも、こうした信望に応える事に外ならない。

KK青木　社長　飯塚正治郎氏